



2021年9月7日

アウディ ジャパン株式会社
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120-598-106
アウディコミュニケーションセンター

マルクス ドゥスマン CEO による声明の抜粋

「Vorsprung 2030」：マルクス ドゥスマン CEO が、アウディの持続可能なプレミアムモビリティへの変革について声明を発表

(ドイツ本国発表資料)

2021年9月1日、インゴルシュタット：ミュンヘンで開催される IAA MOBILITY 2021 に先駆けて、「Audi Media Days #FutureReady」が開催されました。このタイトルは、イベントの内容を明確に表しています。アウディは、固い決意の下、持続可能なプレミアムモビリティプロバイダーへと変革を遂げています。イベント最終日には、AUDIAG 最高経営責任者 (CEO) のマルクス ドゥスマンが、将来のビジョンの概要を説明し、モビリティの将来に関する予測を示しました。声明の主要な内容は以下のとおりです。

...カーボンニュートラルなモビリティについて：

- 「カーボンニュートラルなモビリティを実現することは、私たちの時代における決定的に重要な課題の1つであり、すべてのメーカーが自ら対処しなければならない問題です。私たちは、持続可能なビジネスモデルが将来の成功のために必須であると確信しており、それに基づいて行動します。」
- 「12年以内に、アウディはすべての車両を電気自動車に切り替えます。これは、私たちが業界のパイオニアとなるための野心的な目標です。このような決断を下し、確固たるロードマップを追求することにより、アウディの改革は、今後予定されている法的規制をはるかに先行しています。準備は万端です。」
- 「持続可能性は、パーソナルモビリティを妨げるものではありません。」
- 「最終的には、再生可能エネルギーのより急速な拡大と、充電インフラのさらに急速な展開が必要です。」

...アウディの「Vorsprung 2030」戦略について：

- 「私たちの戦略的目標は、2030年までに年間300万台の車両を販売することです。この目標は非常に野心的ですが、市場予測と魅力的な製品ポートフォリオを考慮すれば、この目標の達成は可能です。」
- 「同時に、収益性が重要です。最近の四半期では、売上高利益率9~11%という戦略的目標を達成し、高い利益を生み出せることを証明しています。そして、グループの相乗効果を高めることにより、11%の利益率を長期的に維持することが可能です。」
- 「アウディは、どの自動車メーカーよりも一貫性をもって、要なセグメントすべてにおいて、製品ラインナップを電気自動車に置き換えています。これは会社全体にとって大きな変化です。しかし、それ以上に、私はそれを大きなチャンスだと考えています。」
- 「内燃エンジン (ICE) を段階的に廃止するスケジュールを早い段階で明確にしたことは、変革を開始する準備ができていることを意味しています。」
- 「しかし、内燃エンジン事業は、今後の10年間も重要な収益源であることに変わりはありません。そして、最後の世代となる内燃エンジンが、アウディ史上最高のものとなり、市場でもっともダイナミックで効率的なエンジンになることをお約束します。」

...アウディの従業員について：

- 「アウディの特定の部門で長年働いてきた多くの従業員は、今後の雇用について不安を抱えています。これに関して、まず 2029 年まで雇用は保証されています。次に、新しい仕事に就くためのトレーニングを実施するために、5 億ユーロの予算を確保しました。私たちは、従業員に徹底的な変革トレーニングを提供しています。その目的は、従業員に自分の仕事の変化や、まったく新しい仕事に備えてもらうためです。これは、デジタル化と電気自動車に特に関係しています。第三に、e モビリティへ完全に移行するという方向性を示すことで、私たちがどこに向かっているのかを理解して、早い段階で変革に向けて十分な準備を進めることができます。」

...フォルクスワーゲングループにおけるアウディの役割について：

- 「グループとともに、アウディは新しいモビリティの世界で主導的な役割を果たします。」
- 「現在の変革プロセスにおいては、単独ブランドでは管理することができない、巨額な規模の投資が必要になることは明確です。一部の競合他社にとって、これは企業存続の問題になりつつあります。私たちは、このような力強いグループの一員であることを誇りに感じています。」
- 「ソフトウェアは、将来の相乗効果と革新を実現するための手段となります。つまり、CARIAD の成功は、グループとして、私たちの将来にとって絶対的な鍵となります。CARIAD は、まったく新しいデジタルエコシステム、あるいは新しいデータベースのビジネスモデルへの道を開いています。」
- 「フォルクスワーゲングループは、SSP を使用して、電気自動車、デジタル化、および高度にスケラブルな製品ポートフォリオ全体の標準化されたアーキテクチャーを開発しています。2025 年から、標準化されたセルの搭載といった選択的な SSP モジュールを採用した最初の「Artemis (アルテミス)」モデルが登場する予定です。2026 年以降は、すべての電気自動車の生産に、このアーキテクチャーを採用する予定です。」

※本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。